

2025年度 AIE 国際高等学校 学校評価【神戸キャンパス】

当年度の重点目標	項目	生徒の資質・能力の向上と学習習慣の確立	
	内容	個別指導で「英語力強化」など発展的な目標から「基礎学力の充実」という土台作りまでの多様なニーズに寄り添い、一人ひとりの能力を最大限に引き出す。	
学校自己評価（令和 8 年 6 月 15 日実施）			
評価項目	評価		備考
	項目別	総合	
教育理念			
理念の浸透	A	A	本校が目指す学習者像 AIE Learner Profile をキャンパス内に掲示。また、モニターを設置し、本校からの情報発信に努めた。
理念の実践	A		学期ごとに目標を設定するシートを書き、学期末には振り返りを行うようにしている。
教育活動			
カリキュラムの充実	A	A	生徒一人一人の学力に合わせて、個別指導の計画を組み、指導した。
個別サポートの充実	A		個別指導形式で授業を展開し、一人ひとりの学力の状況に基づき、指導を行った。
カウンセリングの充実	A		個別面談を定期的に実施。各生徒の学習や学校生活に関して対話する時間を頻繁に持った。
進路指導の充実	A		本校の教員と連携して行った。
保護者との連携	A		必要に応じて、電話や Classi を介して保護者との情報共有に努めた。
学校としての体制の確立			
適切な教育課程の編成	A	A	教育課程は、内閣府に認定された特区計画申請書および、文科省に確認された教育課程表に従って本校が適正に編成している。
適切な面接指導・添削指導等	A		面接指導・添削指導は本校で実施している。 キャンパスでは生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行える体制を整えている。
適切な教職員の配置と組織運営	A		本校より担当者 1 名が出向、講師 1 名を配置、生徒数に応じて増員する予定。
自己評価の実施	A		本校職員と担当者により実施。
適切な情報提供と意見等の取り入れ	A		生徒・保護者と電話、メール、Classi で情報交換を行い、本校と共有した。
適切な施設及び設備の整備	A		施設の周辺に、教育にふさわしくない施設が立地していないことを確認済み。学習等の支援を適切に実施できる施設・設備を有している。

2025年度 AIE 国際高等学校 学校評価【徳島板野キャンパス】

当年度の重点目標	項目	生徒の資質・能力の向上と学習習慣の確立	
	内容	スポーツに打ち込む生徒への環境整備と、学業と両立しやすい環境をつくり、生徒の修学・生活支援体制を強化する。	
学校自己評価（令和 8 年 6 月 15 日実施）			
評価項目	評価		備考
	項目別	総合	
教育理念			
理念の浸透	－	－	2025 年度は在籍生徒がいないため評価を実施していない。
理念の実践	－		同上
教育活動			
カリキュラムの充実	－	－	2025 年度は在籍生徒がいないため評価を実施していない。
個別サポートの充実	－		同上
カウンセリングの充実	－		同上
進路指導の充実	－		同上
保護者との連携	－		同上
学校としての体制の確立			
適切な教育課程の編成	－	－	教育課程は、内閣府に認定された特区計画申請書および、文科省に確認された教育課程表に従って本校が適正に編成している。
適切な面接指導・添削指導等	－		面接指導・添削指導は本校で実施している。 キャンパスでは生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行える体制を整えている。
適切な教職員の配置と組織運営	－		キャンパス長 1 名、講師 1 名を配置し、生徒数に応じて増員する予定。
自己評価の実施	－		2025 年度は在籍生徒がいないため評価を実施していない。
適切な情報提供と意見等の取り入れ	－		生徒・保護者と電話、メールで情報交換を行う。
適切な施設及び設備の整備	－		施設の周辺に、教育にふさわしくない施設が立地していないことを確認済み。学習等の支援を適切に実施できる施設・設備を有している。